第６学年算数科学習指導案

１　単元名　くらべ方を考えよう　－単位量あたりの大きさ－

２　本時のねらい

　混み具合で競う「どっちがこんでいる？ゲーム２」を通して、みんなの部屋の混み具合の効率的な比べ方について話し合うことができる。

３　準備物

　【教師】提示用数字カード、部屋カード、提示用ワークシート

　【児童】数字カード、部屋カード、ゲームシート、ワークシート、電卓

４　展　開

学習活動・内容（時間：分）	教師の働きかけと評価（評価方法）
１　前時のゲームで出た比べ方について振り返る。（５）	○　「どっちがこんでいる？ゲーム１」で見出した比べ方を振り返ることで、本時に生かすことができるようにさせる。
だれの部屋が一番こんでいるのか見つけるためには、どの考え方を用いると最も便利だろうか。	
２　「どっちがこんでいる？ゲーム２」を行う。(15) ＜ゲームの方法及びルール＞ ①　たたみカードと人カードか２枚ずつ選ぶ。 ②　「たたみカード」と「人カード」の内容を見て、各自が１枚ずつ選んで提示し、１回戦を行う。 ③　一番混んでいる部屋が勝ち。 ④　自分や相手のカードを見ながら２回戦のカードを選んで提示し、ゲームを行う。 ⑤　２回勝負で勝敗を競う。 ・混み具合を考えたカードの組合せ方 ・混み具合の比べ方	○　ワークシートや部屋カードを準備することにより、数字と実際の場面とのつながりをとらえやすくさせる。 ○　ゲームの途中においても教師に声を掛けてよいこととし、進行上困ったことを解決できるようにさせる。 ○　カードの並べ方や混み具合の比べ方で気付いたことをワークシートにメモさせることにより、後の話合いに生かせるようにする。 ㊦　混み具合の比べ方やカードの組合せ方を工夫することができる。　（行動観察・ワークシート）
３　学級全体で、最も混んでいる部屋について話し合う。(20) ・１人あたりの畳の数で比べる方法 ・１枚あたりの人数で比べる方法 ・人数や畳の数が同じときの比べ方 ・割合や平均の考え方 ・単位量あたりの大きさの活用	○　今までの学習を振り返ることにより、１にする基準を共通にして数値化することの利便性に気付かせる。 ○　「全員と簡単に比べるには」と問うことで、どのような統一した考え方を用いるとよいかを話し合わせ、単位量あたりの大きさを用いる考え方の利便性に気付かせる。
４　本時の学習について振り返り、適用題を解く。（５） ・単位量あたりの大きさの考え方を生かした問題解決	○　練習問題を解くことで、単位量あたりの大きさを用いた考え方を活用できるようにする。